

## 令和4年度 社会科

学年	1	週授業コマ数	3.5	富中授業時数(45分)	122	標準授業時数(50分)	105
使用教科書	地理的分野：「新しい社会 地理」（東京書籍） 歴史的分野：「社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き」（帝国書院） 地図：「中学社会科地図」（帝国書院）						
副教材等	地理的分野：アクティブ地理総合 白地図作業帳付（浜島書店） 学習整理地理1（学宝社） 歴史的分野：「つながる歴史 大阪府版」（浜島書店）						

## 1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・社会科は「考える教科」です。世界や日本の今や昔のを知り、課題を見つけて自分なりに解決策を考えていくことは、みなさんがこれから社会をよりよくしていくために大変重要なことです。
- ・社会科で学ぶテーマは、多角的・多面的な視点で見ることで物事の見え方がまったく異なってきます。自分は物事に対して一面的な捉え方をしていないか普段から注意を払い、柔軟な視野と態度で授業に臨んでください。
- ・授業では、自分の得た知識や考えを言葉で伝える、文字で伝えるなどの方法で、表現する機会を多く設けたいと思っています。ペアワークやグループ学習も行います。
- ・定期テストに向けて計画的に勉強しましょう。毎日の積み重ねが大切です。分からないところは積極的に先生に質問しましょう。

## 2 学習の到達目標

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

## 【地理的分野】

- (1) 日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特色を考察し理解し、地理的な見方や考え方の基礎を培い、我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を身に付ける。
- (2) 日本や世界の地域の諸事象を位置や空間的な広がりとのかかわりでとらえ、それを地域の規模に応じて環境条件や人間の営みなどと関連付けて考察し、地域的特色や地域の課題をとらえることができる。
- (3) 大小様々な地域から成り立っている日本や世界の諸地域を比較し関連付けて考察し、それらの地域は相互に関係し合っていることや各地域の特色には地方的特殊性と一般的共通性があること、また、それらは諸条件の変化などに伴って変容していることを理解する。
- (4) 地域調査など具体的な活動を通して地理的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を身に付ける。

## 【歴史的分野】

- (1) わが国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に着けるようにする。
- (2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを次期や時代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力強いを養う。
- (3) 歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。

### 3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<p><b>地理</b></p> <p>・日本や世界の諸地域について、その地域構成や地域的特色、地域の課題などを理解し、その知識を身に付けている。</p> <p>・地図や統計、映像など地域に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p>	<p><b>地理</b></p> <p>地理的事象から課題を見だし、日本や世界の地域的特色を地域の規模に応じて環境条件や人々の営みなどと関連付けて多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。</p>	<p><b>地理</b></p> <p>地理的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、広い視野に立ってわが国の国土及び世界の諸地域の特徴について認識を養おうとする。</p>
	<p><b>歴史</b></p> <p>わが国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解していると同時に、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p>	<p><b>歴史</b></p> <p>歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。</p>	<p><b>歴史</b></p> <p>歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手としてよりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>			

### 4 【地理的分野】 76時数

学 期	単 元 名	学 習 内 容	単 元 (題 材) の 評 価 規 準	評 価 方 法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前 期	第 1 編 世 界 と 日 本 の 姿	<p><b>第1章 世界の姿</b></p> <p>地球儀や地図帳を活用し、緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置、地域区分などを理解し、世界の地域構成を大観する。</p>	<p>a:緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解している。</p> <p>b:世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>c:世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	定期考査  ノートやワーク  ワーク  シートの記述	定期考査  ノート  ワーク  シートの記述	ノートやワーク シートの記述  学習に取り組む姿勢や態度

	<p><b>第2章 日本の姿</b> 日本の緯度・経度、日本の位置、地域区分、日本の領域などを理解し、日本国内を大観する。</p>	<p>a: 日本の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解している。 b: 日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>定期考査 ノートやワークシートの記述</p>	<p>定期考査 ノートやワークシートの記述</p>	<p>ノートやワークシートの記述 学習に取り組む姿勢や態度</p>
第2編 世界のさまざまな地域	<p><b>第1章 世界各地の人々の生活と環境</b> 世界各地の人々の生活の様子とその変容について、自然及び社会的条件と関連づけてとらえ、世界の人々の生活や環境の多様性を理解する。</p>	<p>a: 世界各地の人々の生活と環境の多様性について、自然及び社会的条件と関連づけて、人々の生活の様子とその変容を理解し、その知識を身に付けている。 b: 世界各地の人々の生活と環境の多様性を、自然及び社会的条件と関連づけて、人々の生活の様子とその変容をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 世界各地の人々の生活と環境の多様性に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p>	<p>定期考査 ノートやワークシートの記述</p>	<p>定期考査 ノートやワークシートの記述</p>	<p>ノートやワークシートの記述 学習に取り組む姿勢や態度</p>
	<p><b>第2章 世界の諸地域</b> <b>1 アジア州</b> ○アジア州の地域を大観しその上で、多様性と経済発展を主題として設定し、地域的特色を理解する。</p>	<p>a: アジア州の多様性と経済発展をもとに地域的特色を理解し、その知識を身につけている。 b: アジア州の多様性と経済発展をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: アジア州の地勢と国々に対する関心を高め、それを意識的に追究し、とらえようとしている。</p>	<p>定期考査 ノートやワークシートの記述</p>	<p>定期考査 ノートやワークシートの記述</p>	<p>ノートやワークシートの記述 学習に取り組む姿勢や態度</p>
	<p><b>2 ヨーロッパ州</b> ○ヨーロッパ州の地域を大観し、その上で地域統合を主題として設定し、地域的特色を理解する。</p>	<p>a: ヨーロッパ州の地域統合をもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付けている b: ヨーロッパ州の地域統合をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: ヨーロッパ州の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p>	<p>定期考査 ノートやワークシートの記述</p>	<p>定期考査 ノートやワークシートの記述</p>	<p>ノートやワークシートの記述 学習に取り組む姿勢や態度</p>
後期					

	<p><b>3 アフリカ州</b> ○アフリカ州の地域を大観し、その上で人々の暮らしとその変化を主題として設定し、地域的特色を理解する。</p>	<p>a:アフリカ州の人々の暮らしとその変化をもとに地域的特色を理解し、その知識を身につけている。 b:アフリカ州の人々の暮らしとその変化をもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:アフリカ州の地域的特色に対する関心を高め、それを意識的に追究し、とらえようとして</p>	<p>定期考査  ノートやワークシートの記述</p>	<p>定期考査  ノートやワークシートの記述</p>	<p>ノートやワークシートの記述  学習に取り組む姿勢や態度</p>
	<p><b>4 北アメリカ州</b> ○北アメリカ州の地域を大観し、その上で世界に対する影響力を主題として設定し、地域的特色を理解する。</p>	<p>a:北アメリカ州の世界に対する影響力をもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。 b:北アメリカ州の世界に対する影響力を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:北アメリカ州の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p>	<p>定期考査  ノートやワークシートの記述</p>	<p>定期考査  ノートやワークシートの記述</p>	<p>ノートやワークシートの記述  学習に取り組む姿勢や態度</p>
	<p><b>5 南アメリカ州</b> ○南アメリカ州の地域を大観し、その上で開発・環境を主題として設定し、地域的特色を理解する。</p>	<p>a:南アメリカ州の開発と環境をもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。 b:南アメリカ州の開発と環境を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:南アメリカ州の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p>	<p>定期考査  ノートやワークシートの記述</p>	<p>定期考査  ノートやワークシートの記述</p>	<p>ノートやワークシートの記述  学習に取り組む姿勢や態度</p>
	<p><b>6 オセアニア州</b> ○オセアニア州の地域を大観し、その上で他地域との結びつきを主題として設定し、地域的特色を理解する。</p>	<p>a:オセアニア州の他地域との結びつきをもとに地域的特色を理解し、その知識を身に付けている。 b:オセアニア州の他地域との結びつきをもとに多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:オセアニア州の地域的特色に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</p>	<p>定期考査  ノートやワークシートの記述</p>	<p>定期考査  ノートやワークシートの記述</p>	<p>ノートやワークシートの記述  学習に取り組む姿勢や態度</p>

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

【歴史的分野】 50時数

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第1部 歴史のとらえ方と調べ方	<p><b>第1節 歴史の流れと時代区分</b></p> <p><b>第2節 歴史の調べ方・まとめ方・発表の仕方</b></p> <p>○西暦、世紀、元号の意味と使い方 方を理解し、さまざまな時代区分があることを理解する。</p>	<p>a:年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解している。①資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けている。</p> <p>b:時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目して、歴史上の人物や文化財、出来事などから適切なものを取り上げ、時代区分との関わりなどについて考察し表現している。</p> <p>c:過去を継承しつつ、現在に生きる自身の視点から歴史に問いかけ、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている</p>	定期考査  ノートやワークシートの記述	定期考査  ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述  学習に取り組む姿勢や態度
	第2部 歴史の大きな流れと時代の移り変わり	<p><b>第1節 人類の登場から文明の発生へ</b></p> <p>○古代文明や宗教が起こった場所や環境などに着目して文明や宗教の特徴を比較して考察し、世界の各地で人々が農耕や牧畜を基盤に築いた諸文明には、生活技術の発達、文字の使用、国家のおこりと発展、都市や巨大建造物、身分の分化などの共通する特徴があることに気づかせる。</p> <p>○ギリシャ・ローマ文明の政治制度について、現代につながる面と現代の民主主義とは異なる面の両面を踏まえて理解させる。</p>	<p>a:世界の古代文明や宗教のおこりをもとに、世界の各地で文明が築かれたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>b:古代文明や宗教が起こった場所や環境に着目して、文明や宗教の特徴を比較して考察し、共通点に気づくなど、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>c:世界の古代文明や宗教のおこりについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	定期考査  ノートやワークシートの記述	定期考査  ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述  学習に取り組む姿勢や態度

<p>第二章 古代国家の成立と東アジア</p>	<p><b>第2節 東アジアの中の倭(日本)</b></p> <p>○日本列島において狩猟・採集を行っていた人々の生活が農耕の広まりとともに変化していったことや、自然崇拜や農耕儀礼などにもとづく信仰が後の時代にもつながっていることに気づかせる。</p> <p>○古墳の大きさやその分布をもとに、ヤマト王権の勢力の広がりを大きくとらえさせ、東アジアとのかかわりについては、大陸から移住してきた人々のわが国の社会や文化に果たした役割に気づかせる。</p>	<p>a: 日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和政権による統一の様子と東アジアとのかかわりなどをもとに、東アジアの文明の影響を受けながらわが国で国家が形成されていったことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>b: 農耕の広まりや生産技術の発展に着目して、農耕の広まりが生活や社会に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>c: 日本列島における国家形成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワークシートの記述</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワークシートの記述</p>	<p>ノートやワークシートの記述</p> <p>学習に取り組む姿勢や態度</p>
	<p><b>第3節 中国にならった国家づくり</b></p> <p>○聖徳太子の政治、大化の改新から律令国家の確立に至るまでの過程を大きくとらえさせ、大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家のしくみが整えられたことを理解させる。</p> <p>○大陸からもたらされた仏教が、わが国の文化のさまざまな面に影響を及ぼしたことに気づかせ、国際的な要素をもった文化が栄えたことを理解させる。</p>	<p>a: 律令国家の確立に至るまでの過程をもとに、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家のしくみが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>b: 東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化に着目して、東アジアの動きが政治や文化に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>c: 律令国家の形成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワークシートの記述</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワークシートの記述</p>	<p>ノートやワークシートの記述</p> <p>学習に取り組む姿勢や態度</p>
	<p><b>第4節 展開する天皇・貴族の政治</b></p> <p>○摂関政治をもとに平安京における貴族の政治の特色をとらえさせる。</p> <p>○東アジアの情勢の変化によって、わが国でも政治と文化において独自の動きが見られるようになったことに気づかせる。</p> <p>○日本独自のかな文字が発明され、それを使った文学作品が書かれたことなどに気づかせ、文化の国風化が進んだことを理解させる。</p>	<p>a: 摂関政治をもとに、天皇や貴族による政治が展開したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>b: 東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化に着目して、東アジアの動きが政治や文化に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>c: 古代の文化と東アジアとの関わりについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワークシートの記述</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワークシートの記述</p>	<p>ノートやワークシートの記述</p> <p>学習に取り組む姿勢や態度</p>

<p>2章 武家政権の成長と東アジア</p>	<p><b>第1節 武士の世の始まり</b>  ○武士が台頭して武家政権が成立し、その支配が広まったことを理解させる。  ○武家政治の特徴を考察し、天皇や貴族の政治との違いという観点から、古代から中世への転換の様子に気づかせる。</p>	<p>a: 鎌倉幕府の成立などをもとに、武士が台頭して、主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。  b: 武士の政治への進出と展開や貴族の政治との違いに着目して、武家政治の特徴を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、古代から中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。  c: 武家政治の成立とユーラシアの交流について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>定期考査  ノートやワークシートの記述</p>	<p>定期考査  ノートやワークシートの記述</p>	<p>ノートやワークシートの記述  学習に取り組む姿勢や態度</p>
	<p><b>第2節 武家政権の内と外</b>  ○元寇がユーラシアの変化の中で起こったことなど、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接なかかわりが見られたことを理解させる。  ○南北朝の争乱の中で室町幕府が成立し、武家社会が次第に大きな力をもっていったこと、日明貿易で銅銭が大量にもたらされ、貨幣経済の発達を促したこと、琉球が日本、明や朝鮮、東南アジア諸国との中継貿易を行っていたことに気づかせる。</p>	<p>a: 元寇が国内に及ぼした影響、南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などをもとに、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接なかかわりが見られたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。  b: 東アジアの交流に着目して、東アジアの動きが国内の政治や社会に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。  c: 武家政治の展開と東アジアの動きについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>定期考査  ノートやワークシートの記述</p>	<p>定期考査  ノートやワークシートの記述</p>	<p>ノートやワークシートの記述  学習に取り組む姿勢や態度</p>
	<p><b>第3節 人々の結びつきが強まる社会</b>  ○農業など諸産業の発達や畿内を中心とした都市や農村における自治的なしくみの成立が、当時の社会の大きな変化であることや、それにともなって商品流通が活発化したことに気づかせる。  ○武家政治の展開や民衆の成長を背景とした多様な文化が生まれたことを理解させ、この時代の文化の中に現代に結びつくものが見られることに気づかせる。  ○各地に戦乱が広まる中で戦国大名が登場し、自らの領国を支配して分国法を定めたり、城下町を形成して産業の振興に努めたりしたことや、下剋上の風潮など、社会全体が大きく変化していったことに気づかせる。</p>	<p>a: 農業など諸産業の発達、都市や農村における自治的なしくみの成立、多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などをもとに、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。  b: 農業や商工業の発達に着目して、民衆の成長が社会に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。  c: 民衆の成長と新たな文化の形成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>定期考査  ノートやワークシートの記述</p>	<p>定期考査  ノートやワークシートの記述</p>	<p>ノートやワークシートの記述  学習に取り組む姿勢や態度</p>

<p>第3章 武家政権の展開と世界の動き</p>	<p><b>第1節 大航海によって結びつく世界</b></p> <p>○ポルトガルやスペインによる新航路の開拓や宗教改革によるキリスト教世界の動きにもなつて、鉄砲やキリスト教が伝来して南蛮貿易がさかんになり、それらが日本の社会に影響を及ぼし、近世社会の基礎がつくられたことを理解させる。</p> <p>○新航路の開拓の背景となるアジアの交易の状況やムスリム商人などの役割と世界の結びつきに気づかせる。</p>	<p>a: ヨーロッパ人来航の背景とその影響をもとに、近世社会の基礎がつくられたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>b: 交易の広がりとその影響に着目して、アジアにヨーロッパが進出する中で、世界の交易の空間的な広がりが生み出され、日本とヨーロッパ諸国の接触が起こったことや、日本の政治や文化に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>c: 世界の動きについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワークシートの記述</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワークシートの記述</p>	<p>ノートやワークシートの記述</p> <p>学習に取り組む姿勢や態度</p>
	<p><b>第2節 戦乱から全国統一へ</b></p> <p>○織田信長が行った仏教勢力への圧迫や関所の撤廃、豊臣秀吉が行った検地・刀狩などの政策によって、中世の大きな勢力が力を失ったことや、中世までとは異なる社会が生まれていったことなどの大きな変化に気づかせる。</p> <p>○当時の対外関係として、東南アジアなどとの積極的な貿易、キリスト教への対応、朝鮮への出兵などがあったことを取り上げる。</p> <p>○南蛮文化が取り入れられる一方、生活に根ざした文化が広がり、武将や豪商の気風や経済力を背景とした豪華・華麗な文化が生み出されたことに気づかせる。</p>	<p>a: 織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などをもとに、近世社会の基礎がつくられたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>b: 統一政権の諸政策の目的に着目して、中世社会から近世社会への変化が生み出され、日本の政治や文化に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>c: 統一事業について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワークシートの記述</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワークシートの記述</p>	<p>ノートやワークシートの記述</p> <p>学習に取り組む姿勢や態度</p>

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度



## 令和4年度 社会科

学年	2	週授業コマ数	3.5	富中授業時数(45分)	122	標準授業時数(50分)	105
使用教科書	地理的分野：「新しい社会 地理」（東京書籍） 歴史的分野：「社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き」（帝国書院） 地図：「中学社会科地図」（帝国書院）						
副教材等	地理的分野：アクティブ地理総合 白地図作業帳付（浜島書店） 学習整理地理2（学宝社） 歴史的分野：「つながる歴史 大阪府版」（浜島書店） 学習整理歴史2（学宝社）						

### 1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・昨年と同様、社会科を「暗記教科」だと思い込むことはやめましょう。覚えなければならないことがあるということは否定しませんが、社会科の授業は、現代世界や歴史上の世界にたくさん潜んでいる「??」を理解し、解決していく授業です。授業の中で登場する多くの「??」について解決していきましょう。課題を見つけて自分なりに解決策を考えていくことは、みなさんがこれから社会をよりよくしていくために大変重要なことです。
- ・社会科で学ぶテーマは、多角的・多面的な視点で見ることによって物事の見え方がまったく異なってきます。自分は物事に対して一面的な捉え方をしていないか普段から注意を払い、柔軟な視野と態度で授業に臨んでください。
- ・授業では、自分の考えを言葉で伝えたり、文章で伝えたりする機会も多く設定していきたくと思っています。他者の考えを受け入れながら、積極的に取り組んでください。
- ・定期テストに向けて計画的に勉強しましょう。毎日の積み重ねが大切です。また、一番のテスト対策は、授業中にしっかりアンテナを張り、真剣に臨むことです。テストに出るから重要なのではなく、重要だからテストに出ます。先生の話を決して聞き逃さないように！

### 2 学習の到達目標

広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

#### 【地理的分野】

- (1) 日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特色を考察し理解し、地理的な見方や考え方の基礎を培い、我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を身に付ける。
- (2) 日本や世界の地域の諸事象を位置や空間的な広がりとのかわりごととらえ、それを地域の規模に応じて環境条件や人間の営みなどと関連付けて考察し、地域的特色や地域の課題をとらえることができる。
- (3) 大小様々な地域から成り立っている日本や世界の諸地域を比較し関連付けて考察し、それらの地域は相互に関係合っていることや各地域の特色には地方的特殊性と一般的共通性があること、また、それらは諸条件の変化などに伴って変容していることを理解する。
- (4) 地域調査など具体的な活動を通して地理的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を身に付ける。

#### 【歴史的分野】

- (1) わが国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に着けるようにする。
- (2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを次期や時代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力強いを養う。
- (3) 歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとする大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。

### 3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地理 .. 観点の趣旨	日本や世界の諸地域について、その地域構成や地域的特色、地域の課題などを理解し、その知識を身に付けている。地図や統計、映像など地域に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	地理的事象から課題を見だし、日本や世界の地域的特色を地域の規模に応じて環境条件や人々の営みなどと関連付けて多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	地理的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の特徴について認識を養おうとする。
歴史 .. 観点の趣旨	我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に着けるようにする。	歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを次期や時代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力強いを養う。	歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。
<p>上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。</p>			

4 【地理的分野】 76時数

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第2章 日本 の 地 域 的 特 色 と 地 域	<p><b>第2章日本の地域的特色と地域区分(11)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の地形や気候の特色, 海洋に囲まれた日本の国土の特色, 自然災害と防災への取り組みなどを基に, 日本の①自然環境に関する特色を理解させる。</li> <li>少子高齢化の課題, 国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に, 日本の②人口に関する特色を理解させる。</li> <li>日本の資源・エネルギー利用の現状, 国内の産業の動向, 環境やエネルギーに関する課題などを基に, 日本の③資源・エネルギーと産業に関する特色を理解させる。</li> <li>国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況, これを活用した陸上, 海上輸送などの物流や人の往来などを基に, 国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解させる。</li> <li>①自然環境, ②人口, ③資源・エネルギーと産業, ④交通・通信に基づく地域区分を踏まえ, 日本の国土の特色を大観させ, 理解させる。</li> <li>日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に, 地域区分をする技能を身に付けさせる。</li> <li>①自然環境, ②人口, ③資源・エネルギーと産業, ④交通・通信について, それぞれの地域区分を, 地域の共通点や差異, 分布などに着目させて, 多面的・多角的に考察し, 表現させる。</li> <li>日本の地域的特色を, ①自然環境, ②人口, ③資源・エネルギーと産業, ④交通・通信に基づく地域区分などに着目させ, それらを関連付けて多面的・多角的に考察, 表現させる。</li> <li>日本の地域的特色と地域区分について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。</li> </ul>	<p>a</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の地形や気候の特色, 海洋に囲まれた日本の国土の特色, 自然災害と防災への取り組みなどを基に, 日本の①自然環境に関する特色を理解している。</li> <li>少子高齢化の課題, 国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に, 日本の②人口に関する特色を理解している。</li> <li>日本の資源・エネルギー利用の現状, 国内の産業の動向, 環境やエネルギーに関する課題などを基に, 日本の③資源・エネルギーと産業に関する特色を理解している。</li> <li>国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況, これを活用した陸上, 海上輸送などの物流や人の往来などを基に, 国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解している。</li> <li>①自然環境, ②人口, ③資源・エネルギーと産業, ④交通・通信に基づく地域区分を踏まえ, 日本の国土の特色を大観し理解している。</li> <li>日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に, 地域区分をする技能を身に付けている。</li> </ul> <p>b</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①自然環境, ②人口, ③資源・エネルギーと産業, ④交通・通信について, それぞれの地域区分を, 地域の共通点や差異, 分布などに着目して, 多面的・多角的に考察し, 表現している。</li> <li>日本の地域的特色を, ①自然環境, ②人口, ③資源・エネルギーと産業, ④交通・通信に基づく地域区分などに着目して, それらを関連付けて多面的・多角的に考察し, 表現している。</li> </ul> <p>c</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の地域的特色と地域区分について, よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</li> </ul>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワーク シートの記述</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワーク シートの記述</p>	<p>ノートやワーク シートの記述</p> <p>学習に 取り組む 姿勢や 態度</p>

<p>第3章 日本の諸地域</p>	<p><b>第3章 日本の諸地域(35)</b> <b>1 九州地方(5)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>九州地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。</li> <li>①自然環境を中核とした考察の仕方で行った特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解させる。</li> <li>九州地方において、①自然環境の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目させ、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察、表現させる。</li> <li>九州地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。</li> </ul>	<p>a</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>九州地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。</li> <li>①自然環境を中核とした考察の仕方で行った特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。</li> </ul> <p>b</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>九州地方において、①自然環境の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul> <p>c</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>九州地方について、よりよい社会の実現、見られる課題を主体的に追究しようとしている。</li> </ul>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワークシートの記述</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワークシートの記述</p>	<p>ノートやワークシートの記述</p> <p>学習に取り組む姿勢や態度</p>
<p>第3章 日本の諸地域</p>	<p><b>2、中国・四国地方(5)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中国・四国地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。</li> <li>④交通・通信を中核とした考察の仕方で行った特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解させる。</li> <li>中国・四国地方において、④交通・通信の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目させ、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察、表現させる。</li> <li>中国・四国地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。</li> </ul>	<p>a</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中国・四国地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。</li> <li>④交通・通信を中核とした考察の仕方で行った特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。</li> </ul> <p>b</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中国・四国地方において、④交通・通信の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul> <p>c</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中国・四国地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</li> </ul>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワークシートの記述</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワークシートの記述</p>	<p>ノートやワークシートの記述</p> <p>学習に取り組む姿勢や態度</p>

<p>第3章 日本の諸地域</p>	<p><b>3、近畿地方(5)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近畿地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。</li> <li>②人口や都市・村落を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解させる。</li> <li>近畿地方において、②人口や都市・村落の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目させ、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察、表現させる。</li> <li>近畿地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。</li> </ul>	<p>a</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○近畿地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。②人口や都市・村落を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。</li> </ul> <p>b</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○近畿地方において、②人口や都市・村落の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul> <p>c</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○近畿地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</li> </ul>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワーク ワーク シートの記述</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワーク ワーク シートの記述</p>	<p>ノートやワーク ワーク シートの記述</p> <p>学習に 取り組む 姿勢や 態度</p>
<p>第3章 日本の諸地域</p>	<p><b>4、中部地方(5)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中部地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。</li> <li>③産業を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解させる。</li> <li>中部地方において、③産業の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目させ、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察、表現させる。</li> <li>中部地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。</li> </ul>	<p>a</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中部地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。</li> <li>○ ③産業を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。</li> </ul> <p>b</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中部地方において、③産業の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul> <p>c</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中部地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</li> </ul>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワーク ワーク シートの記述</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワーク ワーク シートの記述</p>	<p>ノートやワーク ワーク シートの記述</p> <p>学習に 取り組む 姿勢や 態度</p>

<p>第3章 日本の諸地域</p>	<p><b>5、関東地方(5)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関東地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。</li> <li>・ ④交通・通信を中核とした考察の仕方で行った特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解させる。</li> <li>・ 関東地方において、④交通・通信の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目させ、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察、表現させる。</li> <li>・ 関東地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。</li> </ul>	<p>a</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 関東地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。</li> <li>○ ④交通・通信を中核とした考察の仕方で行った特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。</li> </ul> <p>b</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 関東地方において、④交通・通信の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul> <p>c</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 関東地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</li> </ul>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワーク ワーク シートの記述</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワーク ワーク シートの記述</p>	<p>ノートやワーク ワーク シートの記述</p> <p>学習に 取り組む 姿勢や 態度</p>
<p>第3章 日本の諸地域</p>	<p><b>6、東北地方(5)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東北地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。</li> <li>・ ⑤その他(生活・文化)を中核とした考察の仕方で行った特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解させる。</li> <li>・ 東北地方において、⑤その他(生活・文化)の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目させ、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察、表現させる。</li> <li>・ 東北地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。</li> </ul>	<p>a</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 東北地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。</li> <li>○ ⑤その他(生活・文化)を中核とした考察の仕方で行った特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。</li> </ul> <p>b</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 東北地方において、⑤その他(生活・文化)の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul> <p>c</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 東北地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</li> </ul>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワーク ワーク シートの記述</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワーク ワーク シートの記述</p>	<p>ノートやワーク ワーク シートの記述</p> <p>学習に 取り組む 姿勢や 態度</p>

<p>第3章 日本の諸地域</p>	<p><b>7、北海道地方(5)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>北海道地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。</li> <li>①自然環境を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解させる。</li> <li>北海道地方において、①自然環境の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目させ、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察、表現させる。</li> <li>北海道地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究させる。</li> </ul>	<p>a</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>北海道地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。</li> <li>①自然環境を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。</li> </ul> <p>b</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>北海道地方において、①自然環境の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul> <p>c</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>北海道地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</li> </ul>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワークシートの記述</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワークシートの記述</p>	<p>ノートやワークシートの記述</p> <p>学習に取り組む姿勢や態度</p>
<p>第3章 日本の諸地域</p>	<p><b>第4章 地域の在り方(5)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の実態や課題解決のための取り組みを理解させる。</li> <li>地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解させる。</li> <li>地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想、表現させる。</li> <li>地域の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を身に付けさせる。</li> </ul>	<p>a</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の実態や課題解決のための取り組みを理解している。</li> <li>地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解している。</li> </ul> <p>b</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</li> </ul> <p>c</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</li> </ul>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワークシートの記述</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワークシートの記述</p>	<p>ノートやワークシートの記述</p> <p>学習に取り組む姿勢や態度</p>

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

【歴史的分野】 50時数

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第3章 武家政権の展開と世界の動き	<b>第3節 武士による全国支配の完成(4)</b> ○江戸幕府の支配の下に大きな戦乱のない時期を迎えたことなど、中世から近世への転換のようすを、中世の武家政治との違いに着目して考察させ、自分の言葉で表現させる。 ○江戸幕府の成立と大名統制については、幕府が大名を統制するとともに、その領内の政治の責任を大名に負わせたことに気づかせる。	a 江戸幕府の成立と大名統制、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係をもとに、幕府と藩による支配が確立したことを理解しているとともに資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 b 統一政権の諸政策の目的に着目して、江戸幕府により全国を支配するしくみが作られ、安定した社会が構築されたことを考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 c 江戸幕府の成立と対外関係について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査  ノートやワーク シートの記述	定期考査  ノートやワーク シートの記述	ノートやワーク シートの記述  学習に取り組む姿勢や態度
		<b>第4節 天下泰平の世の中(4)</b> ○身分制のもとで、人々はそれぞれの身分の中で職分を果たしたことで、農村が幕府や藩の経済を支えていたことなどに気づかせる。 ○農林水産業や手工業、商業などの産業や河川・海上交通、街道が発達したことについて、身近な地域の特徴を生かした事例を選んで理解させる。 ○藩校や寺子屋などの普及に着目して、人々の教育への関心の高まりに気づかせるとともに、学問・芸術・芸能などの地域的な広まりに着目して、文化の社会的な基盤が拡大したことを理解させる。 ○近世の文化について、大阪・京都・江戸などの都市を舞台に、経済力を高めた町人を担い手とする文化が形成されたことなどを理解させる。	a 身分制と農村のようすをもとに、幕府と藩による支配が確立したこと、産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりをもとに、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 b 統一政権の諸政策の目的に着目して、江戸幕府により全国を支配するしくみが作られ、都市や農村における生活や変化し、安定した社会が構築されたことを考察したり、産業の発達と文化の担い手の変化に着目して、都市を中心とした経済が形成されていく中で、日本の文化の空間的な広がりが生み出され、それを背景として各地方の生活文化が生まれたことや、生産技術の向上や交通の整備と町人文化の特徴を考察したりするなど、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 c 産業の発達と町人文化などについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査  ノートやワーク シートの記述	定期考査  ノートやワーク シートの記述	ノートやワーク シートの記述  学習に取り組む姿勢や態度



前期		<p><b>第5節 社会の変化と幕府の対策(3)</b></p> <p>○貨幣経済の農村への広がりや自然災害などによる都市や農村の変化などをふまえ、近世社会の基礎が動揺していったことに気づかせる。</p> <p>○外国船の接近とそれに対応した幕府による北方の調査や打払令などを取り上げる。</p> <p>○財政の悪化などを背景とした幕府の政治改革を取り上げ、百姓一揆などに結びつく農村の変化や商業の発達などへの対応というねらいがあったことに気づかせる。</p> <p>○蘭学や国学などの中に新しい時代を切り開く動きがみられたことに気づかせる。</p>	<p>a 社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどをもとに、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>b 社会の変化と幕府の政策の変化に着目して、貨幣経済が農村に広がる中で経済的な格差が生み出され、それらの背景として百姓一揆がおこったことや、社会や経済の変化への対応としての諸改革の展開を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>c 幕府政治の展開について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	定期考査  ノートやワーク  ワーク  シートの記述	定期考査  ノートやワーク  ワーク  シートの記述	ノートやワーク  ワーク  ワーク  シートの記述  学習に 取り組む 姿勢や 態度
前期	<p><b>第4章 近代(前半) 近代国家の歩みと国際社会</b></p>	<p><b>第1節 欧米諸国における「近代化」(5)</b></p> <p>○政治体制の変化や人権思想の発達や広がり、現代の政治とのつながりなどに関連づけて、アメリカの独立やフランス革命を取り上げ、政治的な対立と社会の混乱、そこで生じた犠牲などを経て近代民主政治への動きが生まれたことに気づかせる。</p> <p>○工業化による社会の変化という観点から、イギリスなどにおける産業革命を取りあげ、資本主義社会が成立したことや労働問題・社会問題が発生したことに気づかせる。</p> <p>○産業革命の進展にともなって、欧米諸国が新たな工業製品の市場や工業原料の供給地を求めてアジアへの進出を強めたことを理解させる。</p>	<p>a 欧米諸国における市民革命や産業革命をもとに、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへの進出したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>b 工業化の進展と政治や社会の変化に着目して、近代化の進展により欧米諸国の政治や社会がどのように変化したかを考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>c 欧米における近代社会の成立について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	定期考査  ノートやワーク  ワーク  シートの記述	定期考査  ノートやワーク  ワーク  シートの記述	ノートやワーク  ワーク  ワーク  シートの記述  学習に 取り組む 姿勢や 態度



	<p><b>第4節 近代国家への歩み(4)</b></p> <p>○自由民権運動の全国的な広まり、政党の結成、憲法の制定過程とその内容の特徴を取り上げ、大日本帝国憲法の制定によって当時アジアで唯一の立憲制の国家が成立したことをふまえ、立憲制の国家が成立して議会政治が始まったことの歴史上の意義や現代の政治とのつながりに気づかせる。</p>	<p>a 自由民権運動、大日本帝国憲法の制定をもとに、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、日本の国際的な地位が向上したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>b 議会政治や政治の展開に着目して、世界との関係や、現代の政治とのつながりを考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>c 議会政治の始まりについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワーク ワーク シートの 記述</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワーク ワーク シートの 記述</p>	<p>ノートやワーク ワーク シートの 記述</p> <p>学習に 取り組む 姿勢や 態度</p>
	<p><b>第5節 帝国主義と日本(4)</b></p> <p>○国内の社会状況や国際情勢とのかかわりなどの背景をふまえて、欧米諸国と対等の外交関係を樹立するための長年の努力の過程で条約改正が実現したことを理解させる。</p> <p>○大陸との関係をふまえて、日清・日露戦争にいたるまでの日本の動き、戦争のあらましと国内外の反応、韓国の植民地化などを取り上げ、日本の国際的地位が向上したことを理解させる。</p>	<p>a 条約改正、日清・日露戦争などをもとに、日本の国際的な地位が向上したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>b 外交や戦争の展開に着目して、世界との関係や現代の政治とのつながりを考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>c 国際社会との関わりについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワーク ワーク シートの 記述</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワーク ワーク シートの 記述</p>	<p>ノートやワーク ワーク シートの 記述</p> <p>学習に 取り組む 姿勢や 態度</p>

	<p><b>第1節 アジアの強国の光と影(3)</b></p> <p>○富国強兵・殖産興業政策の下、製糸業、紡績業や鉄鋼業などの近代産業が日清戦争前後から飛躍的に発展して、資本主義経済の基礎がかたまったこと、都市や農山漁村の生活に大きな変化が生じたことに気づかせる。</p> <p>○近代化遺産を取り上げるなど、身近な地域を例としながら、鉄道網の広がりや工業の発達などによって人々の生活の変化がみられた一方で、労働問題や社会問題が発生したことに気づかせる。</p> <p>○伝統的な文化の上に欧米文化を受容して、日本の近代文化が形成されたことに気づかせる。</p>	<p>a 日本の産業革命とこの時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などをもとに、日本で近代産業が発達し、近代文化が形成されたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>b 近代化がもたらした文化への影響に着目して、産業の発展が国民生活や文化に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>c 近代産業の発達と近代文化の形成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワーク ワーク シートの 記述</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワーク ワーク シートの 記述</p>	<p>ノートやワーク ワーク シートの 記述</p> <p>学習に 取り組む 姿勢や 態度</p>
--	--	--	--	--	---

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

## 令和4年度 社会科

学年	3	週授業コマ数	4.5	富中授業時数(45分)	157	標準授業時数(50分)	140
使用教科書	歴史的分野：「社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き」(帝国書院) 公民的分野：「中学社会 公民的分野」(日本文教出版)						
副教材等	歴史的分野：「アドバンス中学歴史資料 大阪府版」(帝国書院) 「学習整理地理2」(学宝社) 公民的分野：「ビジュアル公民」(とうほう) 「実力練成テキスト 社会 公民」(文理) 「実力練成テキスト 全」(文理)						

### 1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

- ・中学3年生になって、社会の時間数が増えました。これまで2年間学習してきた「歴史」に加え、新たに「公民」という分野を学習します。「公民」で学ぶのは、私たちが生きる社会がどのようなしくみで動いているのか、この社会にどのような課題があるのかなど、みなさんがこれからよりよい社会をつくっていくための基礎となり得ることです。社会に出る日も近づいているみなさんに、よりよい社会をつくっていく担い手としても、そして自分の身を守るためにも、知っておいてほしいことがたくさんあります。ぜひ興味をもって視野を広げ、自分の糧としてください。
- ・「歴史」の学習も、大正から平成という、ほんの数十年前の出来事を中心に学んでいきます。過去と現在のつながりが目に見えて分かりやすくなったため、身近に感じられることも増えるでしょう。過去の人々の成功や失敗を学び、自分の選択、生き方の指針としてほしいと思います。
- ・今の社会で起こっていることを少しずつでも知っていきましょう。毎日新聞を読むことがベストですが、難しい人は他のメディアを使ってしっかり情報収集をすることを心がけましょう。ただその際には、情報を鵜呑みにするのではなく、批判的に捉えることもぜひ注意してください。
- ・授業では、自分の考えを言葉で伝えたり、文章で伝えたりする機会も多く設定していきたくと思っています。まずは多角的・多面的に物事をとらえ、自分の考えをもつことが大切です。そして他者と意見交換をしてください。一人ひとり考え方が違うのは当たり前。広い視野と柔軟な態度で意見交換に臨むことで、きっとそれぞれの世界が広がるはずです。
- ・定期テストに向けて計画的に勉強しましょう。毎日の積み重ねが大切です。また、一番のテスト対策は、授業中にしっかりアンテナを張り、真剣に臨むことです。テストに出るから重要なのではなく、重要だからテストに出ます。先生の話を決して聞き逃さないように！
- ・最後に、社会科は暗記教科ではありません。考える教科です！

### 2 学習の到達目標

#### 【歴史的分野】

- (1) わが国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に着けるようにする。
- (2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを次期や時代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力強いを養う。
- (3) 歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。

#### 【公民的分野】

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基



戦と日本		追究しようとしている。			
	<b>第2節 高まるデモクラシーの意識(3)</b> ○国民の政治的自覚が高まり、本格的な政党内閣による政党政治が展開したこと、普通選挙制が実現したこと、米騒動をはじめ、労働運動、農民運動、社会主義運動などの社会運動が幅広く行われるようになったこと、女性の社会的進出が進んだことなどに気づかせる。 ○大都市の発達や都市に住む人々の生活様式や意識の変化、新聞・雑誌などの普及やラジオ放送の開始などを取り上げ、文化の大衆化が進んだことを理解させる。	a: 国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化をもとに、第一次世界大戦前後の国際情勢および日本の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 b: 世界の動きとわが国の関係に着目して、第一次世界大戦による日本の社会の変化や影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査  ノートやワークシートの記述	定期考査  ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述  学習に取り組む姿勢や態度
	<b>第3節 戦争に向かう世論(4)</b> ○世界恐慌に対する各国の対策と対立の深刻化、日本における経済の混乱と社会不安の広がりを取りあげ、政党政治が行きづまりをみせ、軍部が台頭して大陸での勢力を拡張したこと、国際連盟を脱退した日本がドイツと日独防共協定を結んでアメリカやイギリスと対立を深めたこと、中国との戦争が長期化した経緯を理解させる	a: 経済の世界的な混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦が始まるまでの日本の政治・外交の動きなどをもとに、軍部の台頭から戦争までの経過を理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 b: 経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化に着目して、二度目の世界大戦が起こった背景を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 c: 経済の世界的な混乱と社会問題の発生などについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査  ノートやワークシートの記述	定期考査  ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述  学習に取り組む姿勢や態度

		<p><b>第4節 第二次世界大戦の惨禍(4)</b></p> <p>○日本がドイツ、イタリアと三国同盟を結び、アメリカ、イギリス、そして終戦直前に参戦したソビエト連邦などとの大戦になったこと、日本が多くの国々、とりわけアジア諸国の人々に対して多大な損害を与えたこと、各地への空襲、沖縄戦、広島・長崎への原子爆弾の投下など、日本の国民も大きな戦禍を受けたことなどから、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解させ、国際協調と国際平和の実現に努めることが大切であることに気づかせる。</p> <p>○戦時体制下で国民の生活がどう変わったかについて、身近な地域の事例を取り上げ、平和な生活を築くことの大切さに気づかせる。</p>	<p>a: 第二次世界大戦中の日本の政治・外交の動き、中国などアジア諸国との関係、戦時下の国民の生活などをもとに、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>b: 世界の動きと日本との関連に着目して、二度目の世界大戦が起こった理由やその戦争の影響を世界的な視野で考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>c: 第二次世界大戦と人類への惨禍について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワークシートの記述</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワークシートの記述</p>	<p>ノートやワークシートの記述</p> <p>学習に取り組む姿勢や態度</p>
<p><b>第6章 現代 現在に続く日本と世界</b></p>		<p><b>第1節 敗戦から立ち直る日本(3)</b></p> <p>○戦後の混乱のなかで、国民の貧しさからの解放の願いや平和と民主主義への期待などを背景に、男女普通選挙の確立や日本国憲法の制定をはじめとして大きな改革が次々に進められ、国民が苦難をのりこえて新しい日本の建設に努力し、現代の日本の骨組みが形成されたことに気づかせる。</p> <p>○日本国憲法の基本的原則からその歴史的意義を読み取らせる。</p> <p>○戦後の混乱や生活のようす、国民の努力について、身近な地域などの具体的な事例をもとにとらえさせる。</p> <p>○冷戦について、国際連合の発足、米ソ両陣営の対立、アジア諸国の独立、朝鮮戦争、その後の平和共存の動きなどを、日本の動きと関連させながら理解させる。</p>	<p>a: 日本の民主化と再建の過程、冷戦などをもとに、第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>b: 諸改革の展開と国際社会の変化に着目して、諸改革が日本の社会に及ぼした変化や冷戦体制下の日本と世界とのかわりについて考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>c: 日本の民主化と冷戦下の国際社会について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワークシートの記述</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワークシートの記述</p>	<p>ノートやワークシートの記述</p> <p>学習に取り組む姿勢や態度</p>



	<p><b>第2節 世界の多極化と日本の成長(5)</b></p> <p>○日本が独立を回復して国際連合に加盟し、国際社会に復帰するまでの経緯を理解している。</p> <p>○日本の産業・経済や科学技術の著しい発展とそれとともなう生活の向上や、それらを背景とする世界有数の経済大国への急速な成長、および石油危機が政治や経済に及ぼした影響などに気づかせる。</p> <p>○沖縄返還、日中国交正常化などを取りあげ、東アジアとの新たな関係や当時の国際情勢について理解させる。</p>	<p>a: 高度経済成長、国際社会とのかかわりなどをもとに、日本の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し、国際社会において日本の役割が大きくなってきたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>b: 政治の展開と国民生活の変化に着目して、国民生活への影響と国際平和の実現への努力について考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>c: 日本の経済の発展について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	定期考査	定期考査	ノートやワークシートの記述	学習に取り組む姿勢や態度
	<p><b>第3節 世界の多極化と日本の成長(5)</b></p> <p>○日本が独立を回復して国際連合に加盟し、国際社会に復帰するまでの経緯を理解している。</p> <p>○日本の産業・経済や科学技術の著しい発展とそれとともなう生活の向上や、それらを背景とする世界有数の経済大国への急速な成長、および石油危機が政治や経済に及ぼした影響などに気づかせる。</p> <p>○沖縄返還、日中国交正常化などを取りあげ、東アジアとの新たな関係や当時の国際情勢について理解させる。</p>	<p>a: 冷戦の終結をもとに、国際協調の平和外交の推進、開発途上国への援助などもふまえ、国際社会においてわが国の役割が大きくなってきたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。</p> <p>b: 政治の展開と国民生活の変化に着目して、国民生活への影響と国際平和の実現への努力について考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>c: グローバル化する世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	定期考査	定期考査	ノートやワークシートの記述	学習に取り組む姿勢や態度

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

【公民的分野】 100時数

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法			
				知(a)	思(b)	主(c)	
前期	第1編 私たちと現	<p><b>第1節 私たちが生きる現代社会の特色</b></p> <p>○現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解するとともに、諸資料から現代日本の特色に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>○少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政</p>	<p>a: 現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解するとともに、諸資料から現代日本の特色に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けている。</p> <p>b: 位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に</p>	定期考査	定期考査	ノートやワークシートの記述	学習に取り組む姿勢や

代 社 会	<p>治, 経済, 国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察する力, 思考・判断したことを説明する力を養う。</p> <p>○私たちが生きる現代社会の特色について, 現代日本に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p>	<p>考察し, 表現している。</p> <p>c: 私たちが生きる現代社会の特色について, 現代日本に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>			態度
	<p><b>第2節 現代社会の文化と私たち</b></p> <p>○現代社会における文化の意義や影響, 日本の伝統文化の特徴と多様性について理解する。</p> <p>○文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察する力, 思考・判断したことを説明する力を養う。</p> <p>○現代社会の文化と私たちについて, 現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p>	<p>a: 現代社会における文化の意義や影響, 日本の伝統文化の特徴と多様性について理解している。</p> <p>b: 文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し, 表現している。</p> <p>c: 現代社会の文化と私たちについて, 現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワークシートの記述</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワークシートの記述</p>	<p>ノートやワークシートの記述</p> <p>学習に取り組む姿勢や態度</p>
	<p><b>第3節 現代社会の見方・考え方</b></p> <p>○人間は本来社会的存在であることを基に, 個人の尊厳と両性の本質的平等, 契約の重要性やそれを守ることを理解するとともに, 現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして, 対立と合意, 効率と公正などについて理解する。</p> <p>○社会生活における物事の決定の仕方, 契約を通じた個人と社会との関係, きまりの役割について多面的・多角的に考察する力, 思考・判断したことを説明する力を養う。</p> <p>○現代社会の見方・考え方について, 現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p>	<p>a: 人間は本来社会的存在であることを基に, 個人の尊厳と両性の本質的平等, 契約の重要性やそれを守ることを理解している。</p> <p>・現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして, 対立と合意, 効率と公正などについて理解している。</p> <p>b: 対立と合意, 効率と公正などに着目して, 社会生活における物事の決定の仕方, 契約を通じた個人と社会との関係, きまりの役割について多面的・多角的に考察し, 表現している。</p> <p>c: 現代社会の見方・考え方について, 現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワークシートの記述</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワークシートの記述</p>	<p>ノートやワークシートの記述</p> <p>学習に取り組む姿勢や態度</p>

<b>第4編</b> <b>私たちと国際社会</b>	<b>第1節 国家と国際社会</b> ○領土と国家主権，国際連合の働きなど基本的な事項を理解する。 ○文化と宗教の多様性などを基に，国際連合の働きと役割などについて多面的・多角的に考察する力，思考・判断したことを説明する力を養う。 ○国家と国際社会について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。	a: 領土と国家主権，国際連合の働きなど基本的な事項を理解している。 b: 対立と合意，効率と公正，協調，持続可能性などに着目して，文化と宗教の多様性などを基に，国際連合の働きと役割などについて多面的・多角的に察し，表現している。 c: 国家と国際社会について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	定期考査  ノートやワークシートの記述	定期考査  ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述  学習に取り組む姿勢や態度
	<b>第2節 国際社会の課題と私たちの取り組み</b> ○世界平和の実現と人類の福祉の増大のために，国際協調の観点から，国家間の相互の主権の尊重と協力及び国際機構などの役割が大切であること，地球環境，資源・エネルギー，貧困などの課題の解決のために経済的，技術的な協力などが大切であることを理解する。 ○日本国憲法の平和主義を基に，日本の安全と防衛，国際貢献を含む国際社会における日本の役割について多面的・多角的に考察したり，公正に判断したりする力，思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。 ○国際社会の課題と私たちの取り組みについて，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。	a: 世界平和の実現と人類の福祉の増大のために，国際協調の観点から，国家間の相互の主権の尊重と協力及び国際機構などの役割が大切であること，地球環境，資源・エネルギー，貧困などの課題の解決のために経済的，技術的な協力などが大切であることを理解している。 b: 対立と合意，効率と公正，協調，持続可能性などに着目して，日本国憲法の平和主義を基に，日本の安全と防衛，国際貢献を含む国際社会における日本の役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 c: 国際社会の課題と私たちの取り組みについて，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	定期考査  ノートやワークシートの記述	定期考査  ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述  学習に取り組む姿勢や態度

	<p><b>第5編 私たちの課題</b></p> <p>— 持続可能な社会をめざして —</p>	<p>○持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題に関わる基本的な事項について理解するとともに、諸資料から、持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題の解決に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>○私たちが持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題について多面的・多角的に考察したり、公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明・論述したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>○私たちの課題について、課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p>	<p>a：持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題に関わる基本的な事項について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・諸資料から、持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題の解決に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けている。</li> </ul> <p>b：社会的な見方・考え方を働かせ、私たちが持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題について多面的・多角的に考察・構想し、自分の考えを説明、論述している。</p> <p>c：私たちが持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワークシートの記述</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワークシートの記述</p>	<p>ノートやワークシートの記述</p> <p>学習に取り組む姿勢や態度</p>
後期	<p><b>第3編 私たちの生活と経済</b></p>	<p><b>第1節 消費生活と経済のしくみ</b></p> <p>○身近な消費生活を中心に経済活動の意義、市場における価格の決め方や資源の配分を基に市場経済の基本的な考え方について理解する。</p> <p>○消費者の役割と責任について多面的・多角的に考察する力、思考・判断したことを説明する力を養う。</p> <p>○消費生活と経済のしくみについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p>	<p>a：身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市場における価格の決め方や資源の配分を基に、市場経済の基本的な考え方について理解している。</li> </ul> <p>b：対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、消費者の役割と責任について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>c：市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワークシートの記述</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワークシートの記述</p>	<p>ノートやワークシートの記述</p> <p>学習に取り組む姿勢や態度</p>
		<p><b>第2節 生産の場としての企業</b></p> <p>○現代の生産などのしくみや働き、勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解する。</p> <p>○企業の経済活動における役割と責任、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察する力、思考・判断したことを説明する力を養う。</p> <p>○生産の場としての企業について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p>	<p>a：現代の生産などのしくみや働きを理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解している。</li> </ul> <p>b：対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、表現している。</li> </ul> <p>c：市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワークシートの記述</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワークシートの記述</p>	<p>ノートやワークシートの記述</p> <p>学習に取り組む姿勢や態度</p>

	<p><b>第3節 金融のしくみとお金の価値</b></p> <p>○現代の金融などのしくみや働きについて理解する。</p> <p>○金融によって企業や個人が結びついて成り立っている経済活動の意義について多面的・多角的に考察する力、思考・判断したことを説明する力を養う。</p> <p>○金融のしくみとお金の価値について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p>	<p>a：現代の金融などのしくみや働きについて理解している。</p> <p>b：対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目して，金融によって企業や個人が結びついて成り立っている経済活動の意義について多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>c：金融のしくみとお金の価値について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワークシートの記述</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワークシートの記述</p>	<p>ノートやワークシートの記述</p> <p>学習に取り組む姿勢や態度</p>
<p><b>第2編 私たちの生活と政治 第1章 個人の尊重と日本国憲法</b></p>	<p><b>第1節 法に基づく政治と日本国憲法</b></p> <p>○法に基づく政治，日本国憲法の基本的原則及び天皇の地位と国事に関する行為について理解する。</p> <p>○日本の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察する力，思考・判断したことを説明する力を養う。</p> <p>○法に基づく政治と日本国憲法について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p>	<p>a：立憲主義，個人の尊重及び法の支配などを基に，民主的な社会生活を営むためには，法に基づく政治が大切であることを理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国憲法が基本的人権の尊重，国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。</li> <li>・日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。</li> </ul> <p>b：対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などに着目して，日本の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>c：法に基づく政治と日本国憲法について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワークシートの記述</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワークシートの記述</p>	<p>ノートやワークシートの記述</p> <p>学習に取り組む姿勢や態度</p>
	<p><b>第2節 日本国憲法と基本的人権</b></p> <p>○日本国憲法を基に，人間の尊重についての考え方を理解する。</p> <p>○日本国憲法で基本的人権が保障されていることの意義について多面的・多角的に考察する力，思考・判断したことを説明する力を養う。</p> <p>○日本国憲法と基本的人権について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p>	<p>a：日本国憲法を基に，人間の尊重についての考え方を理解している。</p> <p>b：対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などに着目して，日本国憲法で基本的人権が保障されていることの意義について多面的・多角的に考察し，表現している。</p> <p>c：日本国憲法と基本的人権について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワークシートの記述</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワークシートの記述</p>	<p>ノートやワークシートの記述</p> <p>学習に取り組む姿勢や態度</p>

	<p><b>第3節 日本の平和主義</b></p> <p>○日本国憲法が定めている平和主義について理解を深める。</p> <p>○日本国憲法が定める平和主義について多面的・多角的に考察したり、日本の平和主義のあり方について公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>○日本の平和主義について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p>	<p>a：日本国憲法が定めている平和主義について理解を深めている。</p> <p>b：対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、日本の平和主義のあり方について多面的・多角的に考察・構想し、表現している。</p> <p>c：日本の平和主義について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワークシートの記述</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワークシートの記述</p>	<p>ノートやワークシートの記述</p> <p>学習に取り組む姿勢や態度</p>
<p><b>第3編 私たちの生活と経済</b></p>	<p><b>第4節 財政と国民の福祉</b></p> <p>○財政及び租税の意義、国民の納税の義務、社会資本の整備、環境の保全、社会保障、消費者の保護について理解する。</p> <p>○個人や企業の経済活動における役割と責任、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善、財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察したり、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>○財政と国民の福祉について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p>	<p>a：財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解している。</li> </ul> <p>b：対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察、表現している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察・構想し、表現している。</li> </ul> <p>c：財政と国民の福祉について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワークシートの記述</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワークシートの記述</p>	<p>ノートやワークシートの記述</p> <p>学習に取り組む姿勢や態度</p>

<p style="text-align: center;">第2編 私たちの生活と政治 第2章 国民主権と日本の政治</p>	<p><b>第1節 民主政治と政治参加</b></p> <p>○日本の政治のしくみのあらましや政党の役割、議会制民主主義の意義、選挙の意義としくみ、多数決の原理とその運用のあり方について理解する。</p> <p>○民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察したり、公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>○民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p>	<p>a：日本の政治のしくみのあらましや選挙の意義としくみ、政党の役割を理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用のあり方について理解している。</li> </ul> <p>b：対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p> <p>c：民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワークシートの記述</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワークシートの記述</p>	<p>ノートやワークシートの記述</p> <p>学習に取り組む姿勢や態度</p>
	<p><b>第2節 国の政治のしくみ</b></p> <p>○国会を中心とする国の政治のしくみのあらましや議会制民主主義の意義、法に基づく公正な裁判の保障について理解する。</p> <p>○民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察したり、公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>○国の政治のしくみについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p>	<p>a：国会を中心とする我が国の民主政治のしくみのあらましを理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用のあり方について理解している。</li> <li>・国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。</li> </ul> <p>b：対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、議院内閣制や法に基づく公正な裁判の保障などと国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>c：国の政治のしくみについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワークシートの記述</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワークシートの記述</p>	<p>ノートやワークシートの記述</p> <p>学習に取り組む姿勢や態度</p>

	<p><b>第3節 暮らしを支える地方自治</b></p> <p>○地方公共団体の政治のしくみ、住民の権利や義務を基に地方自治の基本的な考え方について理解する。</p> <p>○よりよい地域社会を作ることと、住民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察したり、公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>○暮らしを支える地方自治について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p>	<p>a：地方公共団体の政治のしくみ、住民の権利や義務を基に地方自治の基本的な考え方について理解している。</p> <p>b：対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、よりよい地域社会を作ることと、住民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p> <p>c：暮らしを支える地方自治について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワークシートの記述</p>	<p>定期考査</p> <p>ノートやワークシートの記述</p>	<p>ノートやワークシートの記述</p> <p>学習に取り組む姿勢や態度</p>
--	--	---	----------------------------------	----------------------------------	--